山の本　3月　火山

『日本の火山ウォーキングガイド：魅力と脅威が伝わる22スポット』

火山防災推進機構編　453.8/ニ/

「火山が活きている証」を見に、火山ウォーキングへ出かけてみませんか? 火山のプロが全国各地の22の活火山を取り上げ、火口に焦点をあてたウォーキングルートや、見どころなどを、写真を交えて紹介します。

『火山学　(1.2)』ハンス-ウルリッヒ シュミンケ著　古今書院　453.8/シ/1～2

プレートテクトニクスを基本とした「火山と地球のダイナミクス」を様々な角度から議論。豊富なカラー図版を交えながら、火山と人間の関わりについて学問の分野を超えた新しい視座を提示する。1はマグマの生成や噴火を解説。2は噴火現象とその影響を解説。

『火山の国ニッポン：日本には110の火山がある』プレジデント社　453.8/カ/

有史以前から日本列島の火山は噴火を繰り返してきた。有珠山、浅間山など14の活火山と、富士山を紹介し、噴火によってできた風景、温泉も案内する。偶数ページの右下にアナログパラパラ動画を掲載。

『火山のしくみと超巨大噴火の脅威』　ニュートンプレス　453.8/カ/

日本だけでなく世界中の火山を取り上げながら、火山が噴火するメカニズムから噴火予測、そしてその背景にある壮大な地球システムのなぞに至るまで、豊富なイラストと写真でくわしく説明します。

『日本の火山：国内30の火山活動を検証する』

山と渓谷社編　山と渓谷社　453.8/ニ/

阿蘇山、焼岳、御嶽山…歴史を調べてみると、火山の個性と噴火の傾向が見えてくる。登山が可能な30の火山について知っておきたい情報を網羅した、日本の火山がわかる本。噴火警戒レベルに対応した詳細地図付き。

『御嶽山噴火生還者の証言：あれから2年、伝え繋ぐ共生への試み』

小川さゆり著　山と渓谷社（ヤマケイ新書）　369.3/オ/

2014年9月27日、剣ケ峰は一瞬にして生死の境に放り込まれた。御嶽山噴火とはなんだったのか。頂上直下で被災した山岳ガイドが、決死の脱出行とそこから得られた教訓を綴る。照合しながら文が読める折り込み地図付き。

『検証・御嶽山噴火：火山と生きる-9・27から何を学ぶか』

信濃毎日新聞社編集局編　信濃毎日新聞社　369.3/ケ/

苛烈な姿を現した霊峰御嶽山。噴火の瞬間、避難、救助、捜索、その後の山麓と人々…。御嶽山を追い、見つめた、『信濃毎日新聞』の計68回にわたる連載を単行本化。「被災関係者へのアンケート」等の特集記事も収録。

『日本の火山図鑑：110すべての活火山の噴火と特徴がわかる』

高橋正樹著　誠文堂神新光社　453.8/タ/

日本列島にある110の活火山のすべてを網羅して、その噴火や火山災害の特徴を示した図鑑。火山の全景や噴火時のようすがわかる写真を多く掲載し、火山の成り立ちや噴火のしくみなど、知っておきたい基礎知識も解説する。

『火山の凄さと怖さがわかる本』

博学こだわり倶楽部編　河出書房新社（KAWADE夢文庫）　B453.8/カ/

日本は世界中の火山の2割が集中する火山大国。やみくもに噴火に怯える前に、火山を正しく理解することが大事。噴火のメカニズムや噴火予知の精度、被害想定、過去の噴火事例などを紹介する。